

(ア) から (コ) の 10 個の選択肢から () にもっとも適当なものを選びなさい。マークシートを二列ずつ使用し、回答が (エ) の場合は奇数行の d をマークします。また、回答が (キ) の場合は偶数行の b をマークします。

A 1820-1865 年当時のアメリカは、事物の現実描写を重ねていけば豊かな小説世界が現出するという社会ではなかった。物質的になり (1, 2) **金銀が支配する世界**であった。人々の趣味は低俗化の一途をたどる。形式的な道德観、パッションの失せた、俗悪な状況における (3, 4) **人間存在の空虚感**がただよっていた。また、南北戦争前の 30 年間はアメリカが繁栄と進歩に酔いしれ、自信に満ちて未来へ向かっていた時代でもある。

1830 年頃からの (5, 6) **Romanticism** の文学は、個人の情念、感情、経験をもとに想像力で作り上げた (7, 8) **虚構の世界、その理想的世界**を追求することで現実性を乗り越えようとする文学だ。目の前に存在しないものを描き (外国や過去)、現実逃避となることもあった。(9, 10) **Edgar Allan Poe** は、ヨーロッパ文学に影響を与えた、アメリカ初の独創的文学者といわれる。

(11, 12) **The Fall of the House of Usher** という作品での、双子の主人公の分裂と合体は、作家の美意識と直結する。作家は男性芸術家として、魂が物質に浸透するような (13, 14) **秘儀的知識 (女性原理)** を獲得することを願っている。それは物質的になりすぎた現実世界に (15, 16) **神秘的な力**が必要だと考えているからでもある。物語のクライマックスで男女の双子の合体と死は、(17, 18) **男性原理的世界**と女性原理的世界の交流が達成され、物質、魂という対立物の融合という作家の理想世界が達成された瞬間なのである。

マサチューセッツ州セーレムの旧家に生まれた (19, 20) **Nathaniel Hawthorne** の作品は、ニュー・イングランドの地方色にあふれている。特に作者自身の清教徒的倫理感、過去に対する特殊な意識が、作品に色濃く現れている。(ホーソンの祖先には魔女裁判で裁判官を務めた者もいた)。ピューリタン時代からの語られなかった暗黒の歴史を取り上げる。

あ : **Edgar Allan Poe** い : **神秘的な力** う : **虚構の世界、その理想的世界**

え : **金銀が支配する世界** お : **人間存在の空虚感** か : **秘儀的知識 (女性原理)**

き : **Nathaniel Hawthorne** く : **The Fall of the House of Usher** け : **Romanticism**

こ : **男性原理的世界**

B 彼は人間の心奥にひそみ、理性では捕捉しきれないものを、(21, 22) **象徴的手法**を駆使して表現しようとする。また、物事を多面的に捕らえようとして (23, 24) **曖昧性**を利用した。彼は自分をロマンス作家と定義した。ロマンスとは現実と虚構の世界の

どこか、(25, 26) **現実と創造がであう場、中間領域**をあらわした。そして、その空間で自由な想像力を羽ばたかせるのだ。

17世紀半ばのボストンを舞台とする代表作は、(27, 28) *The Scarlet Letter* である。姦通(かんつう)を犯した(29, 30) **Hester Prynne**、その夫で嫉妬(しつと)に狂う(31, 32) **Roger Chillingworth** 医師、姦通の相手で罪に悩みついに世間に告白する(33, 34) **Arthur Dimmesdale** 牧師、さらに不義の子(35, 36) **Pearl** を加えた4人の、7年間にわたる心理の葛藤(かつとう)を主題とする。女性主人公の胸に緋の糸で刺しゅうされたAのイニシャルは、物語の冒頭では(37, 38) 姦通 **Adultery** を意味したが、しだいに有能 Able、天使 Angel などの意味をもつようになる。こうした象徴的手法を駆使しながら、人間の心奥に潜む悪を追究する一方、ベリンガム知事ら実在の人物を端役に配し、1640年代のボストン・ピューリタン社会を的確に描出する歴史小説としても評価される。ピューリタン社会の厳しい道徳、女性主人公の求める愛と思想の自由、この二面の対比は、作者の内面の矛盾の反映にほかならない。

16世紀のヨーロッパでは社会の不安定化した。原因は1300年中頃以来、ヨーロッパで何度も流行したペスト、西南ドイツでの領主に対する農民一揆である農民戦争(1524)、ルターにより始まる宗教界の分裂(1517年)などだ。この時代にスケープゴートとして、(39, 40) **ユダヤ人、魔女、同性愛者**が選ばれて社会から排除された。このような16世紀の時代風潮がこの作品に反映される一方で、19世紀の時代風潮も取り込まれている。男から独立して生計を立てる女主人公=男の論理、権威から自由であるという構図にそれが見て取れる。それまで男性中心社会で抑圧されてきた母性信仰やオカルト信奉が、この時代に台頭しつつあったことの表れである。

あ : Pearl い : Adultery う : Arthur Dimmesdale え : Hester Prynne
お : Roger Chillingworth か : ユダヤ人、魔女、同性愛者 き : 現実と創造がであう場、
中間領域 く : *The Scarlet Letter* け : 曖昧性 こ : 象徴的手法

C (41, 42) **Herman Melville** は船乗りとなり、二度日の航海で南太平洋へ行く。食人種のタイピー族に捕まって、脱走しオーストラリア捕鯨船に助けられるなどの経験をした。彼が航海での生活でえたことは、船乗りに対する非人間的なあつかいや、船乗りたちの下劣さを通して、人間の本性をたつぷりとみせられたことである。また、南海の島々の住民の無垢な生活から、文明の力の善悪なども考えさせられた。

代表作、(43, 44) *Moby-Dick ; or The Whale* は、『旧約聖書』の12小預言書の一つ Book of Jonah を下敷きにしている。聖書の物語は、預言者ヨナを主人公に仕立てた風刺的

な物語だ。ヨナは、異教の帝国の首都ニネベへ行って滅亡を預言するよう神の命令を受け
るが、これに背いて船で逃げる。途中大嵐となり、海中に投げ込まれたヨナが巨大な魚に
飲まれ、腹の中で3日3晩過ごしたくだけは有名である。

(45, 46) **白鯨**が象徴するのは、自然の神秘のカ、自然(海) そのもの悪である。
また、この動物は神聖と悪が見分けがたく入り交じった全能の神の恐るべきメッセンジャ
ーである。この生き物を仇とねらうのは、(47, 48) **Captain Ahab** である。復讐するた
めには船員の命を顧みない、冷酷な自己を持った人間で、鯨を壁に見立て、それを打ち破
ることで(49, 50) **自由な自己**を実現しようとする。自己を圧迫する正体不明の自己、
これを打ち破らなければ、自己は解放されないと考える。

この作家は、この物語の中で、人間存在の基盤に広がる理解不能な深淵をのぞき、その
中へ入っていった。そして、恐怖し、発見したことを、この作品の中で吐き出している。
不可解なものを探求する精神を描いている。しかし、不可解なものが何であるかを問題と
はしていないのだ。

(51, 52) **Walt Whitman** は1841年に政治ジャーナリストになり、新しく合衆国に加
わる地域はすべて自由州と認めさせる free soil (自由な土地) 運動を提唱した。1850年
代に入ると、彼は議会や政治家を風刺するエピグラムを発表するようになる。一方では乗
合馬車の御者席のかたわらに座ってブロードウエーを往来し、民衆の活気を吸収しようと
努め、読書と思索にふけた。1855年7月、詩集(53, 54) **Leaves of Grass** が世に
出た。

詩人としての彼は、アメリカ精神を再建しようとする(55, 56) **ロマン主義的**な考
えをもち、道徳的、霊的スピリチュアルな指導者の役割を果たした。彼の詩は、規則的韻
律をもたず、柔軟で微妙なリズムを持つ(57, 58) **有機的形式 organic form** を持って
いる。そのような形式では、個人、個性、独創性が強調され、生きた感情の流れやその複
雑微妙な起伏を表現するのに適していた。一貫した物語を持たず、(59, 60) **言葉の連
鎖反応や連想の広がり**によって、展開、自己増殖していく。語り手の自我は、周囲のあら
ゆる存在や事物と共鳴しあい、巻き込み、包み込み、膨れ上がって拡大していく自我とな
る。詩を作りながら、自分を発見し、確認する。さらに自分を語るための新しい詩の形式
も見出していく。自分、仲間との共感、愛、自然の良い面も悪い面もごたまぜにして歌い、
最終的にその全てを肯定する。肉体も精神も同じ。あらゆるものは宇宙全体の流れのなか
にあり、全てが調和している。卑わいな言葉なども分け隔てなく使う。

あ： **言葉の連鎖反応や連想の広がり** い： **ロマン主義的** う： **Captain Ahab**

え： **有機的形式 organic form** お： **Walt Whitman** か： **Herman Melville**

き： **Moby-Dick ; or The Whale** く： **白鯨** け： **Leaves of Grass**

こ：自由な自己

D (61, 62) **Emily Dickinson** はピューリタニズムの敬虔な雰囲気の中で暮らす。物質文明化し、キリスト教も形式化し、本当の「自己」がなんだか分からなくなった。(63, 64) **孤独の中に、精神の自由**を見出し、それを育もうとした。教義を鵜呑みにすることなく、素直に率直にユーモアや皮肉も忘れず、余裕を持って宗教的テーマを思いめぐらした。生死、信仰などを、自分自身のために考え抜く。その他に、ニューイングランドの自然の美、恋愛、芸術、日常の喜び、寂しさ、女性としての疎外感、充実感や、他者の心との交わりを描いてもいる。彼女の詩では、自然、愛、死、神などの主題が扱われている。その詩風は、(65, 66) **知的、即物的、硬質**でイメージが簡潔に凝縮している。

南北戦争終結の1865年から、フロンティア消滅の1890年までを、(67, 68) **Gilded Age** と呼ぶ。この時代にアメリカは農業国から産業国へと急激に移行し、国民は悪夢のような黄金熱にとりつかれ、社会不正がひろまり、金銭のためには手段をえらばず、汚職と醜聞が日常化する。

急速な都市化とアメリカン・アイデンティティーの土台としての(69, 70) **自然を育む西部やフロンティアの喪失**が、新世界の美しいアメリカ(ミシシッピー川の西に横たわっている地域)を、資本主義に熱中し、史上最大の機械制度を作り出す中産階級の土地、つまり(71, 72) **旧世界ヨーロッパ**と変わらない状況へと一変させた。1870年代の腐敗は激しく **dreadful decade** と呼ばれる。グラント大統領までが贈収賄事件に巻き込まれる。Carnegie、Rockefeller などの大資本家の登場する一方、農民と労働者が搾取される。この時代潮流を生んだ考えに(73, 74) **Social Darwinism**がある。the law of the jungle 弱肉強食、(75, 76) **the survival of the fittest 適者生存**を、人間社会の科学的法則とした考え方だ。

(77, 78) **鉄道会社**はアメリカで最初に生まれた大企業である。ここで培われた産業の効率的経営システムは多くの産業にも波及した。そのシステムとは次の4つである。安全運行と効率性を極限まで高める業務のシステム化、(79, 80) **列車の運行制御システム導入**、会社の階層的組織化、あらゆる作業の経費を書類により管理する会計システム導入だ。

あ：列車の運行制御システム導入 い：自然を育む西部やフロンティアの喪失

う：孤独の中に、精神の自由 え：鉄道会社 お：知的、即物的、硬質 か：旧世界ヨーロッパ き：Emily Dickinson く：Social Darwinism

け：Gilded Age こ：the survival of the fittest 適者生存

E 企業は吸収合併を繰り返し、カルテル、トラストを押し進め巨大独占企業体となる。政府が（81, 82）**Laissez-faire 自由放任の態度**を取ったこともこの動きを加速させた。鉄道会社の繁栄と没落が、1880年代のアメリカ経済の繁栄と1890年代の経済恐慌の原因となったのは偶然ではない。

この時代には大衆文化も発展した。都市化と戦争後の道徳観の低下と、社会秩序の乱れを背景に大衆文化が発展したのだ。1860年頃には、10セントで買える（83, 84）**Dime Novels** が流行し出す。開拓者のヒーロー、西部小説、海賊もの、探偵ものなどがあった。冒険心を満足させ、勸善懲悪のものがたりが取り上げられた。（85, 86）**Hratio Alger** は少年向き物語を書いた。代表作は *Ragged Dick* 『ぼろ服ディック』だ。靴磨きや新聞売りをしていてニューヨークの貧しい少年が、正直さと勤勉さにより成功を収める小説で、（87, 88）**アメリカンドリーム**に繋がる、正直な少年の立身出世物語が流行するきっかけとなった。

こういった時代を背景に生まれたのが（89, 90）**Realism**の文学だ。1870年代リアリストのロマンティシストへの批判が起こる。リアリストの作家にとって、（91, 92）**理想化された中世の貴族社会**を描くようなロマンスの世界は、個人的英雄行為を賞賛するものにしかすぎないと思えた。彼らの描く世界は政治と実業が全国で結託する（93, 94）**金銭万能主義の現実生活**とかけ離れていると思えたのだ。この文学潮流に属する作家が（95, 96）**Mark Twain**だ。

彼は（97, 98）**俗語や簡素で率直な文体**や、持続的な緊張感と、開放感を織りませた文体を使い、それまでアメリカ文学になかった斬新さで土地独特の生活を描いた西部の（99, 100）**tall tale(ほら話)**を学び、文学的コメディアンとして出発する。作家として名声を得るにつれ、文学的なジレンマに陥り、小説が書けない時期があった。（次へ続く）

あ：**俗語や簡素で率直な文体** い：**Realism** う：**金銭万能主義の現実生活**
え：**tall tale(ほら話)** お：**Hratio Alger** か：**Laissez-faire 自由放任の態度**
き：**アメリカンドリーム** く：**理想化された中世の貴族社会** け：**Dime Novels**
こ：**Mark Twain**

F それは、彼が元々持っていた西部的価値観＝自然、自由、野生と、有名になって接した東部的価値観＝文明、秩序、教養との間のジレンマであった。しかし、この対立する価値観のぶつかりあいによって、（1, 2）**The Adventures of Huckleberry Finn** が生まれたのだ。（3, 4）**狭苦しく形式張った文明**＝ダグラス

未亡人と、社会によってゆがめられ、(5, 6) 獣的に無秩序な自然＝親父の両方から逃れ、その間のどこかにある、自由で平和な境地を求めて、ハックは世の中から姿をくらます。(7, 8) Tom Sawyer が文明の社会への帰還を前提として旅立つのとは違い、(9, 10) Huck Finn は命がけでそこから飛び出していく物語だ。常に受動的に生き、自分の正体をくらますことによって存在を保ってきた主人公が、追いつめられた状態の中から(11, 12) 人間本来の正義感を自覚し、そのために自分の存在をかけるという積極的生き方に転じていく。その過程で、良心に従う道と、(13, 14) 本能的なハートに従う道のうち、後者を選ぶ。その道はよこしまで地獄へいく道だが、自分に忠実であろうとすると、この道しかとれなかった。これが主人公の成長である。同時にトウエインの道徳的価値観あるいは、人間的あり方が逆転している世界に対する批判でもある。

金メッキ時代には(15, 16) Genuine Femininity を社会が求めるようになった。つまり中産階級の白人女性にとって(17, 18) 敬神、純潔、従順、家庭愛が美德とされた。または、結婚、母性の偏重するようになる。女性を社会参加させない構造を男性が作り上げたのだ。同時に、家庭にとどまった女性は男性文化が生み出す(19, 20) 富と文化の消費者としての役割も担うことになる。

あ：Huck Finn い：獣的に無秩序な自然、 う：Tom Sawyer

え：敬神、純潔、従順、家庭愛 お：人間本来の正義感 か：本能的なハート

き：富と文化の消費者 く：Genuine Femininity、 け：狭苦しく形式張った文明

こ：The Adventures of Huckleberry Finn

この時代に、出版産業において(21, 22) 女性読者(消費者)をターゲットにする、女性作家による「家庭小説」というジャンルが創設される。

多くの家庭小説では、信仰、信頼により(23, 24) 神や父権制に自己をあわせる女性の姿が描かれた。(25, 26) Luisa May Alcott の *Little Women* (1868)はその代表例である。主人公の4人の姉妹は、彼女の姉妹がモデルであるこの自伝的作品は、大好評を博した。4人姉妹の悪戦苦闘の成長ぶりをリアルにえがく作風から、アメリカにおける家庭小説ジャンルを確立した傑作である。

一方(27, 28) Kate Chopin は *The Awakening* において、新時代の女性の生き方を表現した。ヒロインが結婚により夫により所有、束縛された立場から抜けだし、(29, 30) イヴ的自然な人間の生(性)へと到達する。ただし、当時の社会では、(31, 32) 肉体和性に目覚めた人間は堕落したと見なされたので、作家はヒロインに自身を解放するため

(33, 34) 究極の選択、死を選ばせた。

あ：神や父権制　い：イヴ的自然な人間の生(性)、　う：女性読者(消費者)
え：Kate Chopin　お：肉体や性　か：Luisa May Alcott　き：究極の選択、死